

KGA GOLFER'S NEWS

2022 夏号 No.137

一般社団法人 関東ゴルフ連盟

2022年KGA主催決勝競技詳報

関東女子ゴルフ選手権

関東アマチュアゴルフ選手権

関東女子グランドシニアゴルフ選手権

関東グランドシニアゴルフ選手権

特集記事

TEAM KGA ジュニア10年の歩み

ワールドハンディキャップシステム本格稼働！

グリーン委員会特別寄稿

♪きれいに魅せる、コース整備の基本のキ

TEAM KGAジュニア
10年の歩み
2013年 » **2022年**



TEAM KGA
JUNIOR



関東ゴルフ連盟がそれまでのジュニアへの“普及”から「オリンピック選手の輩出」を目標に「育成」に舵を切り、2012年にプロジェクトを発足、翌2013年に誕生した「TEAM KGAジュニア（TKJ）」。あれから10年。当初目標のオリンピック選手輩出は「東京2020」で実現。いまTKJは「ゴルファーを育てる」を基本理念に、“世界で通用するプレーヤー輩出”を確固たるものにしつつある。関係者にこの10年を振り返ってもらった。



2022年関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技が開催されたザ・ロイヤルゴルフクラブ

2022年7月31日発行
一般社団法人 関東ゴルフ連盟
Kanto Golf Association

1/ 特集1 TEAM KGAジュニア10年の歩み

8/2022年KGA主催決勝競技詳報

関東女子ゴルフ選手権
 関東アマチュアゴルフ選手権
 関東女子グランドシニアゴルフ選手権
 関東グランドシニアゴルフ選手権

16/特集2

ワールドハンディキャップシステム本格稼働！

21/特集3
グリーン委員会特別寄稿

「きれいに魅せる」コース整備の基本のキ

24/COLUMN

障がい者ゴルフの普及に勤しみ、
健常者と一緒に愉しめるように

25/INFORMATION

2022年KGAジュニアゴルフスクール開催
月例競技参加規程一部変更のお知らせ
社員(加盟倶楽部)メールアドレス登録のお願い

編集／一般社団法人関東ゴルフ連盟広報委員会
統括／吉田裕明 (KGA広報委員長)
大竹 茂 (KGA広報副委員長)
塚越克一 (KGA広報副委員長)
久保田昌幸 (KGA広報委員)
黒川秀昭 (KGA広報委員)
近藤勇樹 (KGA広報委員)
鈴木一也 (KGA広報委員)
高岡和弘 (KGA広報委員)
富澤 仁 (KGA広報委員)
本條 強 (KGA広報委員)
北川外志廣 (KGA広報参与)
鈴木温理 (KGA広報参与)
福島 靖 (KGA広報参与)

裏表紙／嵐山カントリークラブ

違和感を持たれてしまったら伸び伸びとプレーできないし、次の世代の子供たちもプレーができなくなってしまうからね。今では加盟倶楽部の皆さんにも認知され、週末にプレーさせていただけることが、しっかりと成果を出せている要因の一つだと思っています。

佐藤 練習環境を提供していただくためには、実績を積み上げていくことも大切でした。大きな転機となったのは、やはり畑岡奈紗さんがアマチュアながら日本女子オープンで優勝したことです。それを契機に周囲のTEAM KGAジュニアを見る目も変わった。彼女はマナーもいいし、素直でひたむきに努力する。その姿を後輩たちが見て、お手本にするようになりま



KGAから世界へ 「TEAM KGAジュニア」を発足から見守る

佐藤敏明(副理事長)
笠川喜久男(ジュニア育成委員会委員長)
対談

4月30日、嵐山カントリークラブにて。右が佐藤敏明副理事長(当時)、左が笠川喜久男委員長。

世界で通用するゴルファーの育成を目指す「TEAM KGAジュニア」が、今年発足から10年目を迎えた。畑岡奈紗を筆頭に高橋彩華、吉田優利、そして世界アマチュアランキング1位の中島啓太らを輩出してきた背景や今後の未来図などを、結成当時から関わる関東ゴルフ連盟(KGA)の佐藤敏明副理事長、笠川喜久男ジュニア育成委員会委員長に聞いた。聞き手は鈴木遍理参与。

——TEAM KGAジュニアが発足したのは2013年でした。これまで有望なジュニアにゴルフをより深く学ぶ機会を研修会や米国派遣などで提供し、日本ゴルフ協会(JGA)ナショナルチームやプロで活躍する選手を多く送り出してきました。

佐藤 最初は、当時の竹田恆正KGA理事長(現JGA名誉会長)の「ジュニアチームを作りたい。将来のオリンピック選手を輩出したい」という発案からでした。

笠川 それまでKGAにもジュニア委員会はありませんでしたが、スクールなどを中心にゴルフの普及を図ることが主な目的でした。それが2013年に五輪の東京招致が決まり、本格的な育

した。男子もプロで活躍する星野陸也君や、今後の日本ゴルフ界を背負っていくであろう中島啓太君らはジュニア選手の憧れであり、素晴らしい礎を築いてくれています。

——チームは設立直後から米国のIMGアカデミーにも選手を派遣しています。最初に派遣された吉田優利と澁澤莉絵留はプロになったし、今年からナショナルチームに上がった上田澤空と手塚彩馨も派遣メンバーでした。

笠川 派遣するのは小学校から中学校に上がる段階の選手ですが、その時期に世界を見て素晴らしい練習環境に触れることで夢が膨らみ、大きな変化をもたらすのではという狙いがあるのです。派遣選手は技術だけではなく体力や選抜テストに取り組む姿勢も見えて決めています。

「ゴルフアートを育てる」という理念は不変

佐藤 世界で活躍できるゴルフアートを育てるポリシーから、そのベースを作るというの狙いです。これまで見てきた中では、やはり素直で物事に一所懸命に取り組む選手が伸びていま

成に踏み出したわけです。

佐藤 そのために、KGAに加盟する1都10県それぞれにジュニア委員会を作っていたいただき、そこから優秀な選手を推薦してもらうことから始めました。

笠川 プロゴルファーやJGAナショナルチームの方々からお話を聞き、その中で「学校を休ませないこと」「ゴルフ倶楽部という大人の世界に入っていく子供たちに礼儀作法を徹底して教えること」「子供たちを送迎する親権者の皆さんには家庭での教育や食事などの勉強をしてもらうこと」を基本にしました。

佐藤 最初はスコアを気にしてばかりだった選手や親権者も、それ以前にマナーやエチケットが大切だということを何度も聞くうちに、そのことが技術力の向上にもつながることが分かってきました。さらに医師やトレーナーなど専門家の方も招いて話をしてもらい、体や心のケアに対する意識も高まってきました。

——確かに選手や卒業生たちに聞くと、当時学んだマナーなどがプロになっても一番役立っていると言います。それほど徹底されていたわけですね。

笠川 ゴルフ場で大人たちから

す。そのようなことが分かったのも成果です。

——ジュニアにおける男女の指導の違いはありますか。

笠川 体の成長は女子の方が早いから、トップクラスの子は高校を出て世界に行ってもある程度はやれるというのはあります。男子は大学に行って体をしっかりと作り、その中でプロゴルファーとしてやっていけるか考える時間を作ってほしいと、親権者の方々にも話しています。

——今後のTEAM KGAジュニアが目指す方向は。

佐藤 10年目を迎えて骨格はできてきたと思いますが、これからは「ゴルフアートを育てる」という理念に変わりはありません。ゴルフアートは誠実でなければならず、ゴルフは人間として大切なことを教えてくれる。そのために学校教育も含めてゴルフと教育を結び付けていきたいという思いはあります。

笠川 公立中学校にゴルフの練習場を作ってほしい。テニスコート1面のスペースがあればできるし、クラブの提供やコーチの派遣はこちらからできる。先は長いかもしれないが、そのようなことも目指していきたいです。

TEAM KGAジュニア 10年の歩み

主な実施活動、実績(開始した活動は基本的に現在まで毎年実施)

2012年(平成24年)

- 「TEAM KGAジュニア」プロジェクトがスタート
- JGAゴールドプランに基づき世界レベルで活躍するジュニアゴルファーの発掘、育成、強化を行い、JGAナショナルチームメンバーを輩出することを目標とする

2013年(平成25年)

- 第1期生選手選考 認定選手43名選出
- フィジカルトレーニング開始
- 米フロリダ州「IMGアカデミー」へ派遣を開始



2013年IMGアカデミー派遣選手

2014年(平成26年)

- 第2期生選手選考 認定選手39名選出
- コミュニケーションスキルアップ研修会「エチケット・マナー」基本的な礼儀を身に付けた一流ゴルファーの育成を開始
- クラス別ラウンド研修会を開始
- 親権者の待ち時間を利用した講習会を開始
- 親権者に対する食育講習会を開始

- 夏季合宿を開始「ルール・マナー、食育、ラウンド研修、テクニカルトレーニング」
- 加盟倶楽部での練習環境整備、用品サポートを開始
- JGA主催8地区強化指定選手合同合宿を開始
- JGAナショナルチーム入り選手「永井花奈、佐藤耀輝、伊藤稔奈」

2015年(平成27年)

- 第3期生選手選考 認定選手49名選出
- テクニカルトレーニングを開始
- 合同ラウンド研修会を開始
- 英会話研修会を開始「IMGアカデミー」派遣選手への事前研修
- 親権者に対するゴルフや子供に接するための講習会を開始
- 第1回JGA主催8地区強化指定選手チーム対抗戦

「17歳は早すぎると思う。米国では大学を出て体も精神もしっかりしてからプロになるのが普通」

関東のジュニアのために何かをやりたい(中島啓太)

「親の仕事は親になることであり、コーチやマネージャーになることではない。親が最も心掛けてほしいのは、子供が15歳くらいでゴルフに疲れ、やりたくないとなってしまうのを避けることだ。子供の人生を生きるような親もいるが、そうではなくて、ゴルフを本当に好きになる機会を提供するように考えてほしい。私は人生の価値は生きがいにあると理解している。ゴルフが生きがいとなり、追求していくようになることが、上達につながる。そのことを知ってほしい」



ショートゲームのマネジメントを熱く指導するジョーンズ氏。

通。畑岡奈紗のような体の強さや、稲見萌寧のような身長があればいいが、日本の女子選手は総じて体が小さい。世界で通用する選手を将来目指すなら、17歳でプロになるのは早すぎることも親は知ってほしい」

——指導を7年間続けてきて、日本のゴルフは変わったと思うか

「男子は金谷拓実や比嘉一貴、女子は米国での畑岡奈紗をはじめ、JLPGAでも活躍する選手が多くなり、今のナショナルチームは彼ら、彼女らから多くのことを学ぶ選手が増えた。日本の文化でもある先輩後輩の関係が兄弟意識、仲間意識、家族、フレンドシップをもたらし、チームの文化を形作っていくようになったのは良いことだと思

う。その中で女子は黄金世代、プラチナ世代など早いうちから活躍する選手が出ているが、男子もここまで肉をじつくり焼く感じで成長してきた。これからが楽しみだ」

——TEAM KGAジュニア出身で日体大4年の中島選手は、世界アマチュアランキング1位になった

「中島はファンタスティックな選手。体は強いし、スイングもいい。これからは、いかにけがをしないようにするかも大切だと思う。彼は日本が好きで、家族が好きで、KGAのこともいつも気にして関東のジュニアのために何かをやりたいと思っているようだ。人間的にも素晴らしいので、両足を地につけて成長を続けてほしい」



フィジカルトレーニングに励むTKJ出身の手塚彩馨(中)と上田澤空(右)。



ナショナルチームヘッドコーチ ガレス・ジョーンズ氏に聞く 日本のゴルフは変わったか

日本のゴルフを世界トップレベルに引き上げてほしい」。日本ゴルフ協会(JGA)から命題を託されたオーストラリアのガレス・ジョーンズ氏(51)がナショナルチームのヘッドコーチとして来日したのは2015年。それから日本のゴルフ界は変貌を遂げ、若手選手が台頭して勢力図は劇的に変わった。TEAM KGAジュニア出身の畑岡奈紗を筆頭に世界アマチュアランキング1位の中島啓太らを次々と送り出すジョーンズ氏に聞いた。(聞き手:鈴木遍理参与)

——コロナ禍で久々の来日。日本にいるナショナルチームの選手たちの指導は苦勞したのでは

「5月初旬に2年ぶりに戻れて、宮崎で合宿もできた。その間はオンラインで日本にいるコーチやトレーナーとも連携しながら指導した。おかげでコース戦略の練り方など、これまで紙の資料を配って指導していたことは選手の頭にあらかじめ入っていて、合宿では対面でやらなければいけないことに集中できた」

——ジョーンズ氏が7年前に来日してから、練習はショートゲームが中心となった

「練習の65%をショートゲーム

に費やしている。推測の域は出ないが、それまでの日本の選手はこの逆で、65%をロングゲームに割いていたようだ。芝の上から打てる練習場が少ないなど、日本の練習環境も関係していたと思うが、強くなるためにはショートゲームをしつかりやることが大切だ」

——グリーン上で平衡器を使ったり、細かいデータも駆使して指導している。意識改革は大変だったのでは

「海外の選手、特に男子はショートゲームを徹底してやる。その話をデータなどの数値も示しながら徹底して続け、100ヤード以内が最も大切であるように意識を変えさせた」

——そのような指導法をKGAなど各地区ゴルフ連盟のコーチにも徹底させている

「各地区のコーチと触れ合い、コミュニケーションを重ねて質の高いアドバイスを送れるように広げていくことも私の役割だ。私が思うに、指導者も選手のようににどんな世界に出ていってほしい。国際舞台で指導しているコーチは、こちらから飛び込んでいけば多くを教えてくれる。言葉の壁もあるが、国際経

女子団体戦優勝(工藤優海・岩崎美紀・吉田優利)
JGAナショナルチーム入り
選手—畑岡奈紗・坂本雄介・中島啓太

2016年(平成28年)

●第4期生選手選考 認定選手50名・登録選手40名選出
●登録選手活動始まる

2017年(平成29年)

●第5期生選手選考 認定選手50名・登録選手52名選出
●JGAナショナルチーム入り
選手—塚本岳

2018年(平成30年)

●第6期生選手選考 認定選手50名・登録選手48名選出

2019年(平成31年/令和元年)

●第7期生選手選考 認定選手50名・登録選手49名選出
●第5回JGA主催8地区強化指定選手チーム対抗戦
女子団体戦優勝(六車日那乃・佐久間朱莉・岩井千怜)

2020年(令和2年)

●第8期生選手選考 認定選手64名選出
●新型コロナウイルス感染症の影響によりすべての活動を中止
「TEAM KGAジュニア」配信サイトを開設—動画配信による選手間のコミュニケーションを図り、専門家によるフィジカルトレーニング、食育講座等を配信
JGAナショナルチーム入り
選手—六車日那乃・佐久間朱莉

2021年(令和3年)

●第9期生選手選考 認定選手64名選出
●新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、活動内容を制限しながらラウンド研修会のみ再開
「TEAM KGAジュニア」配信サイト—ルール解説、エチケット、マナー動画配信

2022年(令和4年)

●第10期生選手選考 認定選手64名選出
●新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、活動内容を制限しながらラウンド研修会に続きテクニカルトレーニングを再開
3年ぶりに夏合宿を再開予定

T K J 指導10年間の充実と課題

子供の時からゴルフに接することが珍しくなくなった日本で、重要性が増しているのが指導者だ。KGAジュニア育成委員会強化部会の重田栄作、長島洋介両参与に、TEAM KGAジュニアの選手たちを指導する思いを語ってもらった。

人間力も養うことを 念頭に



重田栄作参与
プロゴルファー(PGAトーナメントプレーヤー、ティーチングプロA級、ジュニア指導員)

ゴルフの指導法は、日本もこの10年くらいで革新的変化を遂げています。タイガー・ウッズの出現に加えてトラックマンのような弾道計測機器も出てきたことで、ウッズらトップゴルファーのスイングを映像や数値から分析するようになりました。これに韓国が真っ先に飛びついて世界のゴルフをリードするようにになり、それまで情報を

取り入れる手段が雑誌くらいしかなかった日本も機器やSNSを活用して追いつくようになり、プロゴルファーであり、ジュニア指導の資格も持つ私はタイガー・ウッズ研究のオタクなので、彼のスイング軌道などを徹底的に分析したのです。

このような変化を加速させたのは、2015年から日本ゴルフ協会(JGA)ナショナルチームをヘッドコーチとして率いるガレス・ジョーンズ氏です。彼はショートゲームやコースマネジメントの指導にたけていて、試合前の準備を徹底させます。私も彼とは研修会やメールなどで指導法をすり合わせています。

ジュニアの指導は成長期の筋肉の発達なども頭に入れる必要があります。さらに将来プロにならなくても社会に通じるように、技術だけではなく人間力も養うことを念頭に置いています。ま

た、ゴルフは本来、バッグを担いで回るなど、自分のことは自分でする競技です。だからゴルフの入り口で、その本質もしっかりと指導していきます。子供の人生に影響を与えるので責任は重いです。それが魅力でもあると思っています。

3年後、5年後を 見据えて指導



長島洋介参与
武蔵丘短期大学健康生活学科准教授

KGAではジュニアに栄養学などを指導しています。日体大でゴルフをやり、その後に栄養士の勉強を始めた当時はスポーツ栄養学という言葉すらなく、「変わり者」と言われたものです。しかし、今はオリンピック選手の手食事も注目されるようになり、スポーツと食が密接につながっていることが認識されるようになりました。

畑岡奈紗選手もTEAM KGAジュニアのころはお父さんから「娘があまり食べようとしない」と相談されたことがありました。話を聞くと、当時はゴルフ以外に陸上もやっていたので、体重が増えることを気にしていたのです。そこで、トレーニングと食事のバランスを取って3年後、5年後の自分を見据えて食べることを指導したら、あつという間に試合で勝つようになりました。

ゴルフは歩くだけと思うかもしれませんが、プロになれば週に5ラウンドくらいすることになります。それも1ラウンド5時間くらいと長時間に及ぶのが特徴で、多い人で1200キロカロリーくらい消費します。特に夏場は熱中症の危険も避ける必要があります。

TEAM KGAジュニア ラウンド研修会

TEAM KGAジュニアでは実際にどのような指導が行われているのか。4月24、30両日に行われた女子チームの研修会取材した。

60人以上が所属するTEAM KGAジュニアはトップのSを筆頭に男女ともA、B、Cの計4クラスに分かれている。茨城ゴルフ倶楽部で行われた4月24日は女子Aクラスが中心で、KGAジュニア育成委員会の

長島洋介参与によるフィジカルチェックや栄養学などの座学後、同・重田栄作参与らが練習場で弾道計測器トラクマンを使って各選手を指導。その後、各自がハーフラウンドで実技指導を受けた。

嵐山カントリークラブで開催された30日は、全クラスの女子30人によるラウンド研修。今回はJGAナショナルチームに上がった上田澤空、手塚彩馨と、プロアマ163選手による全米女子オープン予選会で上位6人の出場資格を勝ち取った馬場咲希、伊藤二花も参加した。4人はいずれも高校2年生で、上田と手塚は翌5月にシンガポールで開催されたクイーンシリキルト杯アジア選手権で日本を優勝に導く活躍。一方、6月の全米

女子オープンでも馬場が日本人アマとして8年ぶりに予選を突破し、最終的に49位。175センチの長身から繰り出す270ヤードを超える飛距離は「将来の利器」と注目を浴びた。

上田と手塚は「ナショナルチーム入りはKGAジュニアの時から一つの目標だった。米国のIMGアカデミーに派遣してくれたことも視野を広げてくれた」。伊藤と馬場は「目上の人との接し方や敬語、食事のマナー、名刺の受け取り方などは教えてもらわなければできない。KGAジュニアでそういうのが出来るようになってきた」と、いずれも口をそろえた。

ちなみにラウンド研修では、1組目がティーショットを放った直後にコーチが「全員集合!」と大声を發した。「自分が打ち終わった後に他の選手のショットの行方を見ていない選手がいた。これから気をつけなさい」との指導だった。TEAM KGAジュニアの神髄に触れた感じがした。



研修会に集ったTEAM KGAジュニアの選手たち。



重田コーチからトラクマンのデータを見ながらアドバイスを受ける。



フィジカルチェックも入念に行っている。



ラウンド研修前にジュニア強化委員からアドバイス。



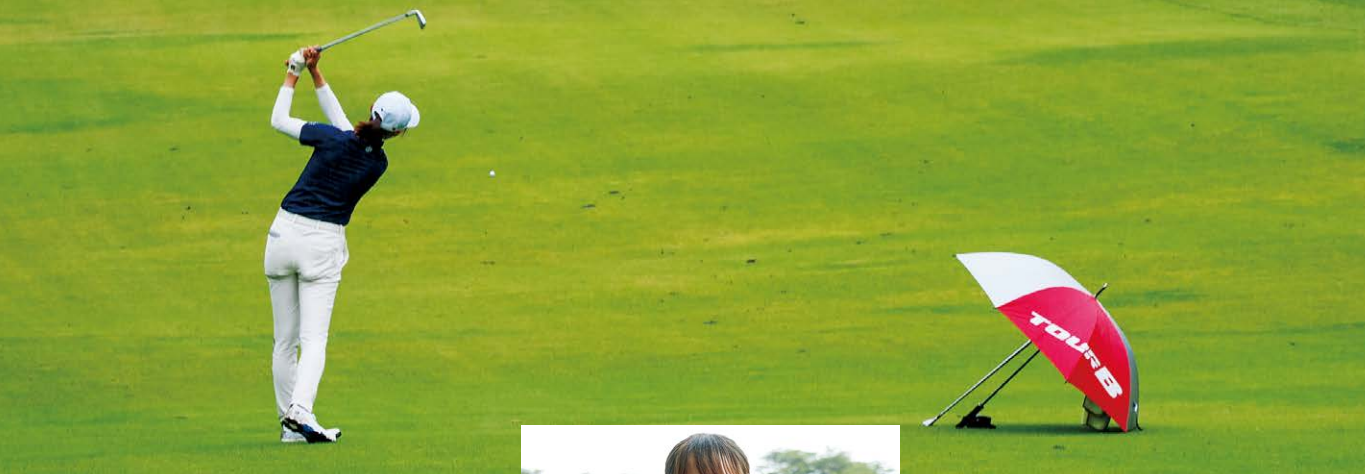
JGAナショナルチームに加わった上田澤空(左)と手塚彩馨。



全米女子オープン予選会を突破した伊藤二花(左)と馬場咲希。



圧倒的な飛距離と 雨でも乱れない集中力で 最長コースを競技レコードで 馬場咲希が初優勝



日本ジュニア、関東ジュニアの上位選手が揃った試合。本命視されていた馬場咲希が、雨模様の最終日に1人スコアを伸ばして逆転制覇。



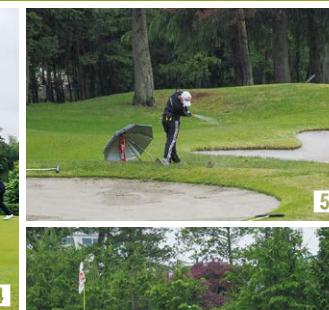
夢は大きく、海外メジャー優勝という馬場咲希選手。全米女子オープンでも注目された。

2022年の競技の先陣を切った、関東女子ゴルフ選手権決勝競技は、パー72で6502ヤードという、これまでで最も距離のある設定での開催となった。

舞台となった埼玉県の嵐山カントリークラブは、ゆったりとしたデザインながら、各ホールそれぞれにアンジュレーションがあり、入り組んだ傾斜からの正確なアイアンショットが求められるコース。そして「ちょっとしたホールロケーションで攻め方が変わる」(内藤正幸競技委員長)という戦略性の高さも持ち合わせている。グリーンもタイトに整備されており、上位のスコアが目撃されたが、優勝スコアは競技レコードとなる9アンダーまで伸び、昨今の女子選手のレベルの高さを感じさせられた。

初日、2日と天候に恵まれたものの、最終日は雨模様のなか、身長175センチの長身から放たれる平均270ヤードの飛距離を武器に、馬場咲希選手(Team KGAジュニア)がスコアを4つ伸ばして、4位からの逆転で初優勝を遂げた。

「今回はずっとパットが良かったと思います。もともとそれが課題だったのですが、『入れたい』と思って打つよりも『入れなきゃいけない』と、ある意味自分にプレッシャーをかけたほうが入ると気づいてからよくなりました。それに、コース的に思い切りドライバーが振れて、余分なことを考えずにずっと集中してラウンドできたことが大きかったと感じます。特に3日目は雨が降りましたが、途中で強くなっても全然気になり



1 左から高野愛姫(4位)、手塚彩馨(2位)、馬場咲希(1位)、中澤瑠来(3位)、横山珠々奈(5位)の決勝競技入賞者。競技終了後は爽やかな笑顔。2 競技を終え、ホッとせず表情も緩む最終1組前の3人。3 競技2日目の午後、翌日の強雨予報を受けて、できるだけ早く水分が土中に染み込むようにグリーンには浸透剤が撒かれた。4 早い時間にはまだ雨が降ってなかったため、練習グリーンでパッティング練習をする選手の姿が多く見られた。5 最終日は途中上がったものの、前夜から降り続いていた雨で、湿ったバンカーやラフからのショット、アプローチは難易度を増した。

特別表彰:岩崎美紀選手

「初出場は小学校6年生の時でしたが、グリーンが硬くて全然歯が立たないと思ったのを覚えています。最初の頃はゴルフが楽しいということと、ただ一生懸命でした。でも、だんだんいろいろ考えるようになり、ゴルフの奥深さを肌で感じ、緊張するようにもなりました。これからもゴルフはやっていきますが、特に自分が経験してきたことをジュニア世代に伝えていけたらいいですね」



決勝競技出場10回目の表彰を受けた岩崎美紀(那須小川)はまだ22歳。



ませんでした」

と、馬場選手は勝因を語る。

馬場選手以外でも上位入賞選手は、7アンダー、6アンダーと好スコアをマークしている。また、そのなかのある選手は、「グリーンはラインを読むのは難しいと感じましたが、転がりが非常に良く、狙いがあっていれば多少距離があっても入ってくれます。逆に入らないと自分のミスだと分かる。だから、プレーしやすいと、他の選手とも話していました」

と、語っている。

優勝した馬場選手は高校2年生で、選手の大半が20歳前後。そうした若手が試合中に冷静にプレーを考察

できている。技術的な伸び代はまだまだ大きいだけに、十二分に将来が期待できる。すでに輝きつつある原石がさらに磨かれることを期待したい。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	3R	Total
1	馬場 咲希	TEAM KGA ジュニア	70	69	68	207
2	手塚 彩馨	ナショナルチーム	67	71	71	209
3	中澤 瑠来	那須小川	69	70	71	210
4	高野 愛姫	扶桑	65	71	75	211
5	横山 珠々奈	関東ジュニア	69	71	73	213



世界基準を舞台に 若い力が弾ける



優勝の本大志選手



世界を目指す若い選手たちの
力量を試すモンスターコース
本大志がただ一人の
アンダーパーで優勝。

❶ 優勝を手繰り寄せた16番ホールのアプローチ。
次打のバーディーにつなげた。❷ TEAM KGA
ジュニアの仲間たちから祝福のシャワー。

会場のザ・ロイヤル ゴルフクラブは、国内最長の
8143ヤードを誇るモンスターコースだ。

競技は、7725ヤードで行われたが、それでも関東ゴ
ルフ連盟主催競技史上最長で、男子プロの試合でもこ
れほど長い設定はあまりない。

この怪物コースと互角に渡り合い、優勝争いを演じ
たのは高校生たちだった。

ただ一人、アンダーパーをマークして優勝した本大
志選手(Team KGAジュニア=目黒日大高2年)は、
コースの象徴的存在である705ヤードの16番パー5を、
4日間で、バーディー3つ、パー1つと完全に攻略した。
2位の栗原遥大選手(Team KGAジュニア=埼玉栄高
2年)も、ここでバーディー2つ、パー2つ。高校生でも、

ドライバーで300ヤード近く飛ばし、試合経験は豊富
だ。今や「大人顔負け」という言葉は通用しない。逆に、
大人が負けてしまう時代なのだろう。

優勝争いは、このTEAM KGAジュニアの2人が15番
終了時点で、2アンダーで並ぶ展開に。勝負が動いたの
が、最終組の本選手が16番グリーン、1組前の栗原選手
が17番パー3のグリーンにいた時間帯だった。本選手
が5メートルのスライスを読み切ってバーディー
を奪ったのに対し、栗原選手は2オン、3パットのダブ
ルボギー。その17番で、本選手は、「手前の池を恐れず、
3番アイアンでガツンと打って」グリーンに寄せ、ダメ
押しのバーディーを奪った。

ただ一人、第4ラウンドで60台をマークした隅内雅



❸ 昨年は5位。今年は2位タイの隅内雅人。❹ 栗原遥大は初の72ホール競技で2位タイに入賞。❺ 本大志を挟んで左が新村駿(4位)、右が鈴木晃祐(5位)。ともに学生のトッププレーヤー。

距離だけではない モンスターコース

“世界基準”を標榜するザ・ロイヤルGC。タフなのは距離だけではない。アプローチやパットのショートゲームに加え、マネジメント力もシビアに問われる超難コースだ。

18番パー4(484ヤード)



関東アマのレベルアップに 長年貢献した特別表彰選手



❻ 関東アマ通算35回出場の澤田信弘(左、右は竹原洋行)。❼ 同20回出場の松田永基。❽ 同10回出場の高橋雅也。

人選手も、水戸啓明高で学ぶ高校3年生。前日までの7
位から栗原選手と並ぶ2位まで浮上して見せた。

2003年のこの選手権で、高校1年生が史上最年少優勝
を果たして衝撃を与えたが、最近は高校生が上位に
入るのは当たり前になった。



彼らはこの先、どこまで伸びていくのだろうか。本選手
に、今の課題を聞くと「飛距離かな。いや、全部がまだ
足りないと思います」。関東から日本へ、そして世界へ。
夢が大きいからこそその言葉だろう。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	3R	4R	Total
1	本大志	TEAM KGA ジュニア	71	71	70	72	284
2	隅内雅人	関東アマ	74	73	72	69	288
	栗原遥大	TEAM KGA ジュニア	74	68	73	73	288
4	新村駿	穂高	69	70	75	75	289
5	鈴木晃祐	ナショナルチーム	74	69	69	78	290



角田里子が逆転で 2連覇達成



昨年優勝の角田里子がルーキーの
田中真弓との接戦を制し、
6冠目のKGA選手権を獲得。



笑顔の上位入賞選手たち。左から落合麻紀(3位タイ)、田中真弓(2位)、角田里子(優勝)、小田倉富士子、仲丸きよ枝(ともに3位タイ)。

今年60歳の“新人”から、最高齢74歳の大ベテランまで。5回目を迎えた本選手権の決勝は、いくつになっても元気に、そして真剣に輝いていた女性120人が頂点の座を競い合い、昨年グランドシニアデビューの角田里子選手が2連覇を飾った。

2日間競技の初日は、選手たちにとって試練の幕開け。激しい雨が降り続くが、養生が行き届く森林公園GCのグリーンに水が浮くことはなく、競技は続行。悪天候の中で初日トップに立った落合麻紀、今井信子両選手のスコア83を、内藤正幸競技委員長は「パープレーに匹敵する」と、たたえた。

翌日の最終日は、コース整備の奮闘から始まった。

グリーンキーパーは夜明け前からバンカーに溜まった水を抜くなどの作業に取り掛かった。水をバンカー内の一角に設けられている排水口に流し込み、搭乗式砂ならしで砂をならす作業を延々と。「フェアな競技ができる環境を提供したい」(水島純グリーンキーパー)の一念からだった。

その思いが実り、絶好のコンディションでスタートした最終日は各選手とも笑顔が絶えないラウンドだった。試合は後半に入ると、ともに首位に2打差でスタートした角田選手と、日本女子シニア優勝者でグランドシニア1年目の田中真弓選手の一騎打ちとなり、15番パー4のバーディーで2打差をつけた角田選手がこの



1



2



4

1 最終ホールでバーディーを奪い笑顔を見せる田中真弓。2 第1ラウンドでトップに並んだ今井信子(左)と落合麻紀(右)。3 3位タイの仲丸きよ枝。4 同じく3位タイの小田倉富士子。5 コース管理スタッフの尽力に、選手からは最大の賛辞と感謝の言葉が寄せられた。

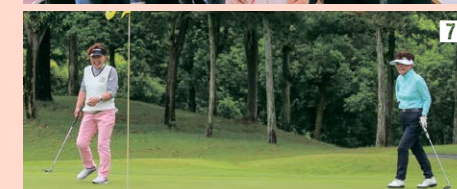


5

特別表彰選手*



6



7

6 前列左から加藤理刈、増田京子、林恵子。後列左から鯉沼良美、角田里子、落合麻紀。7 長年活躍できる秘訣を「ゴルフを楽しんでいること」と語る増田(右)。最年長出場で「70歳以上の部」1位になった田村幸子(左)と楽しそうにプレー。

*関東女子シニア選手権以降の決勝競技通算10回出場の特別表彰

日3オーバー、通算16オーバーで、粘る田中選手を振り切って勝負を決めた。

陸上のやり投げで国体出場経験があり、30歳から始めたゴルフでは関東女子ミッドアマ優勝、関東女子シニア3連覇など輝かしい実績を持つ角田選手は「シニアの時は無我夢中でプレーして勝っていた」と言う。グランドシニアでは余裕があるかと聞くと「人間の欲望とは計り知れないものですね。勝ちたいという思いから、ラウンド中はずっとドキドキでした」と笑いながら振り返った。

「(最大の武器の) 飛距離は60歳を過ぎて落ちているけど、無理して飛ばそうとすると体を痛める。これから

も今の健康を維持しながらゴルフをしていきたい」。熟年ゴルファーには金言でもある。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	Total
1	角田 里子	鹿沼	85	75	160
2	田中 真弓	成田東	85	77	162
3	小田倉 富士子	芳賀	88	77	165
	仲丸 きよ枝	十日町	85	80	165
	落合 麻紀	津久井湖	83	82	165



梅雨の晴れ間の 爽やかな好勝負

18番ホールアウト直後の富田久三(左)と宮

全日本クラスの
名選手たちによる接戦を
制したのは、昨年の
日本グランドシニア覇者、
富田久三だった。



富田久三



宮辰夫

勝利の女神は無欲の人に微笑むのか？

関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技の最終日は激戦だった。初日73でトップに立った田村敏明選手は2017年に日本ミッドシニアに優勝した強者で今回がルーキーと若くて元気潑刺。逃げ切り優勝に思えたが、前半で同組の富田文雄選手に1打かわされた。この時点では田村選手2オーバー、富田文雄選手1オーバーで二人の戦いに絞られた感じだった。

ところがバックナインに入って田村選手がスコアを落し、代わって1組前の宮辰夫選手がバーディー・パー・バーディー・イーグル・バーディーと猛追。14番ホールで遂に宮選手が富田文雄選手と1オーバーで並んでしまったのだ。

宮選手と同組の富田久三選手も粘っているが、宮選

手の勢いに目を見張る。

「宮さんのプレー、写真を撮らないといけませんよね。そろそろ来ますかね」

そう宮選手に言った途端、カメラマンが15番で追いつく。ここでも宮選手は200ヤード以上の第2打をウッドで乗せるスーパーショット。パットが僅かにカップに届かなかったが、強豪らしい攻めのゴルフは圧巻だ。

16番ホールは、ホールロケーションを左端にする内藤正幸競技委員長、絶妙の難位置。宮選手は右に乗せたものの、ここからはパットが超高速となる。3mオーバーして返しを外してボギー。ところが陰に隠れていた富田久三選手がピンそばに乗せてバーディー。それも強気のパットでカップにねじ込んだ。

富田久三選手は昨年の日本グランドシニアチャンピ



1 富田文雄 (2位)。2 田村敏明 (4位)。3 平田泰博 (5位)。4 深澤一三 (6位)。5 決勝競技出場の最年長選手、竹澤孝 (81歳)。



特別表彰選手

後列左から矢島茂、真崎敏寛、平石定夫、長谷川壽彦 (以上、通算10回出場)、富田文雄 (通算15回出場)。前列左から小宮山義孝KGA副理事長と通算15回出場の宮辰夫。
* 関東シニアゴルフ選手権以降の通算出場回数による特別表彰



オン。その冠は伊達ではなかった。最終組の富田文雄選手がこのホールをボギーとし、3人が2オーバーで並ぶ三つ巴の展開。もはや誰が勝つか予想も付かなくなっていた。

17番ホールでは宮選手、富田久三選手ともにパー、富田文雄選手はボギー。勝負の18番ホールで何と宮選手が第2打を大ダフリという考えられないミス。富田久三選手はグリーンを外したが、上手く寄せてパーとした。あとは最終組の富田文雄選手がバーディーならプレーオフだが叶わず、富田久三選手が優勝した。

終始落ち着いたプレーで初日より6打縮める70で上がった「キュウちゃん」こと富田久三選手は笑顔で言う。「優勝は考えていませんでした。昨年に股関節を痛めてほとんどゴルフができませんでしたので、5位以内

に入賞できればいいかと、1打1打自分のゴルフを全うするだけでした。だから、宮さんのゴルフも驚きませんでした。ただただ、凄いなあって。最終組のことは考えても仕方ないし、自分ができることをやりました。そしたら優勝だって。信じられませんでした」

梅雨の最中の晴れ間に富田久三選手の顔が輝いた。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	Total
1	富田 久三	静ヒルズ	76	70	146
2	富田 文雄	茨城	74	73	147
3	宮 辰夫	習志野	76	72	148
4	田村 敏明	小千谷	73	76	149
5	平田 泰博	沼津	79	71	150

特集2 ワールドハンディキャップシステム本格稼働
紫カントリークラブすみれコース

WHSの導入が 倶楽部競技の活性化に結実



インデックス導入に大きな役割を果たした眞々田恒久副委員長。

4月からスタートしたワールドハンディキャップシステム（以下WHS）。世界中どこでも通用し、ゴルフが公平、公正に競い合うことができる。関東ゴルフ連盟（KGA）は、WHSの普及と適正な運用のため、様々な事業に取り組んでいる。既に、このシステムを採用している倶楽部の多くが、「競技が活性化した」と評価しているが、紫カントリークラブすみれコースを実例に、導入のために必要な準備や運用の工夫、効果などを紹介する。

紫カントリークラブすみれコースは、2019年4月の研修会から、WHSの前身であるJGA・USGAハンディキャップシステムに基づき、ハンディキャップ算出の基となるハンディキャップインデックス（以下、インデックス）を使った競技を開始。翌年7月の月例競技を手始めに、順次、倶楽部内

の各競技もインデックスとスローレーティングを導入して行うようになった。

導入に努力した一人が、競技・ハンディキャップ委員会の眞々田恒久副委員長だ。

「きっかけは、研修会で成績が良かったことでした。倶楽部ハンディキャップを使って、ネット、グロスそれぞれのスコア上位者を表彰していましたが、長い間、表彰されない人が何人もいました。若いから、飛ぶから、昔は片手シングルだったから、という理由で、スコアが悪くなくても倶楽部のハンディキャップが変わらないから、月例競技でも表彰されることがない。ハンディキャップのあり方は、そういうものではありません。JGA・USGAハンディキャップシステムを導入しませんかと、当時の競技委員長にお話ししました。2018年のことです」

研修会で高評価を得て、19年11月、倶楽部競技でもインデックスを使うことになったが、「一度にすべての競技に適用するのは、どうなのか」という声があり、月例競技から始めることになった。まず、会員への啓蒙から始めたが、当時は競技委員の中にもシステムを知らない人が何人もいたという。

「倶楽部会報誌にシステムの基礎知識を載せたり、座談会を開いたり、ロビー内に告知を掲示して啓蒙を図りました。20年3月、会員にそれぞれのインデックス証明書と自分でスコアを登録、インデックスを発行できるID、パスワードを送付しましたが、「これは何？ どうするの」という反応が当初はかなりありました。従業員全員を相手に、インデックスとは何か、これまでの倶楽部ハンディキャップとは何か、という説明会も開きました」

「WHS方式には、
いい事しかありません」

眞々田副委員長によると「倶楽部従業員の中に、システムに精通していて、会員の質問、疑問に答えられる人がいることが重要」で、すみれコースでは営業課担当係長の赤井敦俊さんが、眞々田副委員長の片腕となった。

WHSに基づき、スロープシステムとインデックスを使えば、どの

ティーを選択しても、その人のハンディキャップが算出できる。すみれコースには、5か所のティーイングエリア、2つのグリーンがあり、組み合わせると10パターンになるが、

赤井さんは、エクセルの表に、その人のインデックス、使用ティー、グリーンを入れれば、当日のハンディキャップが出てくるようにした。また、月例競技などのスタートリストにも、参加者が申告したティーによるハンディキャップが一目でわかるものを作った。

赤井さんは「うちの月例は、出場枠が空いていれば当日朝でも出場できます。希望する使用ティーを当日、変更することもできます。欠

場者も考えられます。この変更作業を競技開始までに終わるのが、当初は大変でした」と振り返る。

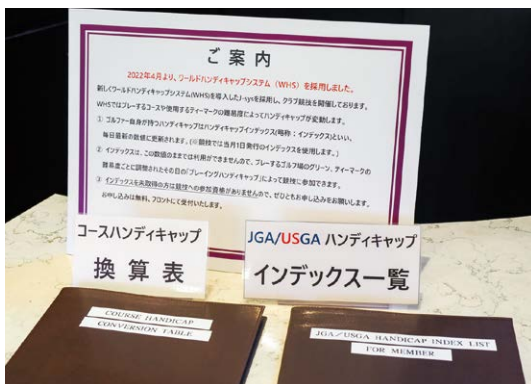
「高齢者や女性の
参加者が増え、
活躍」

今では、会員の理解が進み、運営もスムーズになった。眞々田副委員長は「WHS方式には、いい事しかありません」と言い切る。「スロープシステムを使う何よりの良

さは、プレーヤーが自分でティーを選べることです。例えば、月例競技を6200ヤードのティーに固定したら、若い人がつまらない。6600ヤードにしたら、高齢者の出場が減ってしまいます。自分に合ったティーが選べれば、プレーが楽しくなりますし、調子が良ければ上位に行けます。月例など各競技に、高齢者や女性の参加者が増え、活躍するようになりました。一方、理事長杯は固定ティーで行われますが、適正なハンディキャップで戦いますので、上級者の参加が増えました」。さらに、「批判は一回も聞いていません。皆さん、喜んでくれています」と続けた。



すみれコース研修会兼月例競技。青ティーのプレーヤーに続いて白ティーの選手がプレー。この組では3つのティーが使われた。



フロント前ロビーには、ハンディキャップインデックス一覧と換算表が置いてあり、自由に閲覧できる。

ただ、問題点がないわけではないという。「この仕組みの根幹は、他のコースでプレーしたものも含めて、すべてのスコアを提出することです。そうしないと正しいインデックスが算出できません。残念ながら、出す枚数が少ない人はいません。知り合いの会員の顔を見ると、『スコアを出してください』と呼び掛けられています」と眞々田副委員長は話す。

すみれコースは、この4



すみれコースの競技システムを作った赤井敦俊さん。

月、競技委員会とハンディキャップ委員会が統合した。競技委員全員にWHSの仕組みを理解してもらい、競技の形態に合わせた調整（アローワンス）を協議するには合体した方がいい、という判断からだった。3か月に一度、委員会を開催し、会員のインデックスを調べ、必要なら低減処置を行うなどハンディキャップ絡みの作業も多い。「競技で使用するインデックスは毎月1日時点のものにする、など、競技規則にも手を入れました。委員会の役割は大事だと思っています」と眞々田副委員長は話している。



倶楽部内の競技にスロープレーティングを使用して例えば、ゴルフアールは使うティーを自分で選択し、インデックスを基にその日のプレーイングハンディキャップが算出されて、競い合うことができます。例えば、飛距離の不安から競技への参加をためらっていた高齢者や病氣から回復中の方も、適正なティーが使えれば出場するようになるでしょう。

倶楽部外にも、スロープレーティングを使った競技が増えていけば、インデックス取得のモチベーションにつながると思います。KGA主催の関東アンダーハンディキャップ選手権などだけでなく、県

JGA主催のアンダーハンドイ
キャップコンペ「ドリームステー
ジエクスペリエンス」は、昨年度の
7試合から今年度は18試合になり
ました。主に全国の名門、有名コー
スが会場です。WHSになって、
スコアカード（18ホール）3枚でイン
デックスを取得できるようににな
りましたので、ぜひインデックスを
持つて、これらの競技に挑戦して
ください。

J・s・y・sへの登録窓口を増や
すことや、スマホやカーナビで簡
単に入力できるなど、ゴルフファ
ーの利便性を高めることにも取り組
みます。そのためにも、ゴルフファ
ーの方は、個人のID、パスワードを
登録し、ご自身で入力できるよう
になっていただければと願ってい
ます。

単位、市町村単位の競技ができないか、働きかけていきたいと考えています。

KG Aは
インデックス取得者を
今年度中に20万人へ

JGA主催のアンダーハンドイ
キャップコンペ「ドリームステー
ジエクスペリエンス」は、昨年度の
7試合から今年度は18試合になり
ました。主に全国の名門、有名コー
スが会場です。WHSになって、
スコアカード（18ホール）3枚でイ
ンデックスを取得できるようにな
りましたので、ぜひインデックスを
持って、これらの競技に挑戦して
ください。

関東ゴルフ連盟ハンディキャップ委員会普及部会は、都県ごとに各倶楽部のハンディキャップ担当者などを集め（オンライン開催を含む）、WHSの普及、啓蒙のための説明会を開催している。

これまでのJGA・USGAハンディキャップ制度からWHSになって何が変わったのか。ハンディキャップ・インデックス（以下インデックス）取得に必要なスコア枚数が5枚から3枚になり、インデックスの更新が毎月1日から入力した翌日になることなど、主な変更点14項目について映像を交えて説明。また、J・sysについては、ログイン方法が変更され、自分の倶楽部のコースハンディキャップ換算表がいつでもダウンロードできるようなったことなどを紹介している。

さらに、ゴルフ場のコースレーティングを算定する査定



山梨県で開催された説明会。

WHS普及、啓蒙のための
説明会を都県ごとに開催

作業についても説明、具体的な準備項目、査定チームの作業内容などを伝えている。

説明会では、WHS導入、実施のために倶楽部が行っている努力、工夫を話す場面も。埼玉県の説明会では、武蔵カントリークラブから「会員のスコアホルダーに、通常のスコアカードのほか、提出用スコアカードもはさんでおき、スコアを毎ラウンド、提出する習慣をつけていただく」とお願いしている」ことが発表された。

WHSの現状と将来 —KGA岡田ハンディキャップ副委員長に聞く 導入倶楽部は増加も 活用の充実はこれから



4月からスタートしたワールドハンディキャップシステム（以下WHS）。課題は、いかに多くのゴルフアーに知ってもらい、利用してもらうかだ。日本ゴルフ協会（JGA）ハンディキャップ委員長でもある岡田光史・関東ゴルフ連盟（KGA）ハンディキャップ委員会（KGA）ハンディキャップ委員長・同査定部会部会長に、啓蒙と普及のための方策、将来に向けてのヴィジョンを聞いた。

最初に、現況をお話しします。WHSの基となる計算システム、J・sysを導入している倶楽部数は、6月6日現在で1558倶楽部。うち、JGA加盟倶楽部では、1508倶楽部中99%にあたる1498倶楽部が導入しています。

ディキヤップ計算ができるスロープレーティングを使用した競技を行っている倶楽部は、24%でした。大半の倶楽部では、倶楽部内だけに通用する独自のハンディキャップインデックス(※以下インデックス)が競技に使われ、J・sysに登録しているのはJGAやKGAなどが主催する外部の競技に出場しようという競技ゴルフアークという実態が見えてきます。

JGAでは、今年中に、加盟倶楽部におけるスロープレーティングを使用した競技会の割合を35%まで伸ばしたいと考えています。35%というのは、統計学上の分岐点となる数字です。35%までいくと、「あそこが導入したらしい」という事例が耳に入ってくるようになります。真剣に検討し、導入が進むこ

ところが、導入倶楽部それぞれの中身を見ると、1000人以上の会員がJ・sysに登録している倶楽部は、10・8%しかありません。一方、199人以下の倶楽部が52・5%を占めています。つまり、システムは導入されているものの、活用されているとは言えない。ここが一番の問題だと思っています。

昨年2月の調査ですが、使用するティーごとにプレイングハン

倶楽部が、スロープレーティング導入をためらう理由の一つに、顧客管理から競技管理まで行っている基幹システムを変更したくないことがあると言われています。でも、専門業者に頼めば、一度か二度のクリックで基幹システムとJ・sysがつながり、J・sys内の会員のスコア情報が基幹システムに簡単に反映できます。面倒な計算はJ・sysに任せればい

いわけです。J・s・y・sの中にはCTCという無償の競技システムがありますので、これも利用していただきたい。また、WHSの中にあるハンディキャップアローワンスの仕組みを利用することで、競技の性格や参加者の実態に合わせバランスを取り、より適正な試合にすることが可能です。

個々のゴルフアーにインデックスを持ってもらうには、インデックスを使う機会を増やすことが非常に大切です。KGAは、インデックス取得者を、現在の18万人から、今年度中に20万人まで増やす目標を立てています。



査定委員が各ホールを丹念に査定する。



特集3 グリーン委員会特別寄稿

「きれいに魅せる」 コース整備の基本のキ

解説 前花 貢
(グリーン委員会参与、
嵐山カントリークラブ
取締役コース管理部長)



かつて、関西のあるゴルフ場にコンサルタント兼グリーンキーパーとして赴任した際のこと。ベテランが多かったコース課スタッフに私が最初に指示したのは、「コースのゴミ拾いをしましょう」ということでした。

オーナーがわざわざ招聘したコンサルタントからの指示としては、拍子抜けだったかもしれません。しかし、いざやってみると、思いの外ゴミが集まって、皆、驚くと同時にきれいになったと喜んでくれたのを覚えています。

特にそのコースがゴミだらけだったわけではありません。でも、意外とゴミは落ちていたものなのです。ペットボトルや空き缶はさすがにないでしょうが、吸い殻、紙屑、ティーペグ、ボールマーカー、スパイク鉄など。進入路やハウス周りも含めると、どのコースでもかなりの量になるはずです。

ペットボトルや空き缶が散乱している海水浴場だと、ゴミを捨てて帰る人がいます。しかし、ディズニールンドでゴミをそこら辺に捨てる人はいません。タバコの吸い殻も、ディボット跡やボールマークも同じことです。きれいにしていれば、マナー・エチケットにも気を遣ってくれるのです。

したがって、ゴルフコースをきれいにする、きれいに魅せることを念頭に管理することが整備の根本だと、考えています。そうした後に、最終的な段階として、例えば、グリーンの硬度を上げ、スピンの効いたボールとそうでないボールの違いが出るといったプレーヤーの技術がきちんと反映するような状態を目指します。それがコースを整備していく上でのステップです。しかし、どうしてもテレビの中のトッププロたちのプレーイメージが先行してしまい、いきなり硬く速いグリーンを求めてしまいがちです。グリーンは速いけど、裸地があったり、黒い藻が繁殖していたりすれば、やはり整備が行き届いていないコースということになるでしょう。

私が師と仰ぐレジェンドキーパーに20年以上前に言われたことがあります。

「ゴルフ場のどこをきれいにすると、整備されていたと一番感じるか。グリーンだろうか。いや、そうではない。グリーンはきれいかどうかよりもパッティングに神経がいく。芝がきれいに生え揃っていれば、それでよい。ゴルフファアが手が空いていて一番コースを見るのは、スタートするまでの1番

査定日当日の流れ

6時45分	KGA事務局到着・準備
7時00分	査定委員到着・朝食
7時30分	朝食・査定委員事前ミーティング
8時00分	OUTコース査定スタート
9時45分	INコース査定スタート
11時30分	コース査定終了・お風呂
12時00分	昼食・小委員会(仮数値決定)
12時45分	査定倶楽部関係者との打合せ
13時00分	打合せ終了・査定委員解散
14時30分	KGA事務局集計作業終了・撤収

※ 標準的な査定作業手順。

のような手順で作業を進めていく。査定を受け入れる倶楽部側は、ティーから決められた距離を示す旗や杭を立て、ホールごとの実測図やグリーンの大きさがわかる数値、高低差一覧などを用意し、査定委員に伝える。

査定委員は、実際に球を打ちながら、男子ならスクラッチプレーヤー(ハンディキャップ0)の推定飛距離250ヤード地点とボギープレーヤー(ハンディキャップ20前後)の推定飛距離200ヤード地点(女子は200ヤード地点と150ヤード地点。パー5なら第2打地点も)を観察。ホールの距離は、傾斜や高低差、強制刻み、ドッグレッグ、標高などで修正される。プレーの難易度に影響を及ぼすOBや池までの距離、グリーンとバンカーの近接率、グリーンの形状、アンジュレーション、グリーンスピードなどを計測。これらの障害は、定められた基準に従って評価する。この作業を18ホール続け、コースレーティング(スクラッチレーティング)が算出される。これはスクラッチプレーヤーが通常の状態だとすると平均で何ストロークになるかを表した数字となっている。査定作業には、何より正確性と均一性が求められる。

WHS用語説明

【WHS】世界で6つあった異なるハンディキャップシステムを統合。共通化することにより、世界のどこでも、異なる国・地域の人が集まっても、共通の物差しの下で対戦できるようになった。日本では今年4月から実施。

【スロープレーティング】比較的簡単なコースでは、通常、上手な人と下手な人のストローク差は少ないが、難しいコースでは大きくなる。それぞれのコースで、スクラッチプレーヤー(ハンディキャップ0)の想定ストローク数(スクラッチレーティング)とボギープレーヤー(ハンディキャップ20前後)の想定ストローク数(ボギーレーティング)を算出。その差を使って算出する。スロープレーティングの数字が大きい方が、難しいコースとなる。

【ハンディキャップインデックス(イン

デックス)】プレーヤーの最近20枚(18ホール)のスコアのうち、上位8枚のスコアで算出する。スロープレーティングの平均的な数字113のコースを回った時のハンディキャップに当たる。このインデックスを基に、自コースや訪問先のコース、ティーのスロープレーティングを使って計算すると、その日のプレーイングハンディキャップが算出できる。

【インデックスを最初に取得する必要スコア枚数】54ホール分(18ホールなら3ラウンド分)。従来は、18ホールのスコア5枚が必要だった。

【インデックスの上限と更新頻度】上限は、男女とも54.0。従来は男子36.4、女子40.4だった。更新は、スコア提出ごとに行われる。従来は毎月1日更新だった。

れ、やり方は世界共通だ。

年月が経つとコース状態が変わるため、2013年からは最低10年に1度、再査定が求められる。コースの改造が行われた時も、改造規模に応じて現地または机上で再査定を受けなければならない。

岡田光史KGA査定部長は「改造を考える際、査定で使用する数値が活用できます。例えば、女

子のボギープレーヤーの想定飛距離は、第1打が150ヤード、第2打が130ヤードです。ですから、レディースティーから150ヤード以上のパー3、280ヤード以上のパー4は無理があります。WHSを活用することで、プレーヤーはより楽しいゴルフができ、ゴルフ場は運営がスムーズになると思います」と話す。



グリーン・カラー・ラフと濃淡の違いがはっきりして美しい。



明確にメリハリをつけるには、刈高20mm以上の差が欲しい。

の健全な維持・管理という点でも好ましくありません。ゼブラでなくとも、フェアウェイのライン（ラフとの境目）をくっきりと見せれば、メリハリのあるきれいなコースに見えるはずです。

もう1カ所、大切なところがあります。ティーイングエリアです。ティーメーカーの置かれるティー面は、どのコースも頻度高く刈込み、できるだけ不陸（凸凹）をなくそうと努力しているはずです。意外と見過ごされているのが、ティー面周囲とカート側の法面です。

梅雨で刈込みが滞っている時に、伸びた芝がかかって見にくいといった経験をしたことはないでしょうか？

私はティーの周囲を25mmで刈るようにしています。かつては45mmでしたが、雨が続いた時などに不都合が起きないこと、また周囲も低く刈込まれていることできれいに見えるからです。加えて、カートが着く側の法面に関しても、同様に25mmで刈っています。朝露でズボンの裾が濡れてしまわないようにとの配慮からです。でも、たったこれだけのことで、ティーイングエリアがすっきり見えるのです。

コースによって、大きなアンジュレーションや排水不良個所など、配慮が必要なケースはあると思います。林帯の整備が大変なところもあるかもしれません。ただ、コースを整備する上で欠くことができないのは、ゴルフアがきれいなコースだと感じ、気持ちよくプレーをしてもらおうと意識することだと信じています。

コース管理の本筋を見極める良いタイミング

コロナ禍がゴルフ界に思わぬ盛況を招いて2年超が経過しました。それ以上に予想外の結果となった若者ゴルフの増加も続いています。少し前までゴルフ界で若年層と言えば40代以下でしたが、一気に10歳以上若返り、20代の若者となった感があります。

今時の若者のトレンドの1つにゴルフが登場していることは喜ばしい限りです。そして、これからずっとゴルフを続けてもらうためには、彼ら彼女らがどのような志向な

のかを念頭におくことが、その道筋だと考えます。

若者の行動パターンでモチベーションとなる重要な要因が「インスタ映え、だと言われます。非日常感のあるゴルフコースでは、「インスタ映え、を期待する若者は多いとも報じられています。

ゴルフはスコアをつけるラウンドが基本ですから、常に競技を念頭におくことは当然のことです。コース管理がいつでも公式競技ができるような、より良いコンディションを目指すのは大切です。

とは言え、硬く締まったグリーンを作ることにはばかりに一生懸命でよいのでしょうか。

コロナ禍によって、様々なライフスタイルが変化しました。いろいろなことが見直されています。ゴルフコースの管理も、原点に戻って、もう1度整備の本筋を見極める良いタイミングなのではないでしょうか。

（グリーン委員会委員長 海老原寿人）

米国でも、マスターズに触発されて硬く速いグリーンを望む声が大いという。



洋芝できれいなゼブラ模様を見せている。USツアーの舞台。

と10番のティー周囲だ」もちろん、そこだけではなく、もつといるところがあるのですが、要するにゴルフアへの行動をしっかりと考えて、コースは管理しなければいけないということです。これは私のコース管理者としての原点になっています。

メリハリをつける刈高差は20mm目安

では、コースをきれいにさせるためにはどうすればよいのか？

まず、あるべきではない物を排除することが先決です。ゴミもその1つ。そのほか、舗路路やバンカー縁からはみ出して生えている草。ランナーと言いますが、この清掃が必要です。バンカーの縁がきちんと切り揃えてあると、たとえ刈かすが残っていても、きれいなコースだ、あるいはよく整備されていると感じてもらえます。

どこを見てきれいだと感じるかは人それぞれ。しかし、作業をしてきれいだと最も感じてもらいやすいのが、バンカーの縁切りでしょう。特にガードバンカーの場合、フェアウェイやラフが生育旺盛な夏季は、芝の緑とバンカー砂との色の対比できれいさが際立ちます。

もう1つ、グリーンキーパーが意識するのが「メリハリ」です。緑のフィールドの中でコントラストの違いを際立たせることがキーパーたちの言う「メリハリ」です。この大前提は裸地を作らず、緑で埋めること。これはごく当たり前のようですが、裸地のあるコースは意外とあります。

「メリハリ」には2つあります。1つは芝の刈高。刈高が高ければ、葉が多く緑は濃く見えます。単純にフェアウェイに比べラフは芝が



はみ出したランナーがないだけで、きちんと整備されている印象を抱かせる。

伸びているので緑が濃い。ただし、それだけではメリハリがついているとは感じません。薄いところと濃いところの境界がはっきりしていること。それによって、濃淡のメリハリを感じてもらえるのです。つまり、フェアウェイのラインがはっきりしていることになります。

セミラフがあるコースも多いかもしれませんが。私の経験では、セミラフとフェアウェイの刈高の差程度では、刈った直後ははっきりと違いが分かって、翌日にはボケてきてしまいます。明らかにメリハリを維持できる目安としては、20mm以上の差が必要だと思います。

テレビで観るトーナメントコースは、毎日刈っているのもメリハリがついているのです。

余談ですが、セミラフというのは1930年代のアメリカででき

たものです。当時、大恐慌時代の不況の最中、少しでも管理作業の負担を軽減しようと、フェアウェイ両側の刈込み作業を節約したのがセミラフの起源です。景観や戦略が目的ではなかったのです。

カート側法面とティー面周囲の刈込

2つ目のメリハリの出し方は、順目と逆目です。順目は薄く、逆目は濃くなります。フェアウェイで順目と逆目交互の縞模様にするゼブラカットや左右斜めに刈って菱形に見せるダイヤモンドカットなどがその例です。

でも、ベントグラスやブルグラス、ライグラスといった柔らかい洋芝ならともかく、硬いコウライ芝では、この手法はフェアなセッティングではないと、個人的には考えています。たまたま順目に行った時はクラブ抜けがよく、逆目だとよくない。メリハリという点では、確かにきれいに見えても、アンフェアにしてはいけないと思います。

また、はつきりと順目・逆目をつけるには一定期間、同じように刈込んで芝にクセをつけなければいけません。詳細は省きますが、芝

2022年KGAジュニアゴルフスクール開催

2022年KGAジュニアゴルフスクールは、JGAジュニア会員の高校生、中学生、小学生（4年～6年）を対象に、3月28日に相模カンツリー倶楽部、鷹之台カンツリー倶楽部、4月1日に袖ヶ浦カンツリークラブ・袖ヶ浦コースの3会場で開催しました。

相模CCには小学4年生～6年生が74名、鷹之台CCには中学生～高校生が97名、袖ヶ浦CCには中学生～高校生が98名、合計269名が参加しました。

なお、本年も新型コロナウイルス感染対策を十分に行いながら、18ホールスループレーとし、クラブハウスへは入場しないという規定で実施。さらに、密を避けるために、開校式、規則・マナー講習会、表彰式、閉校式は実施せず、指導委員が帯同して、規則・

マナーを直接指導しました。

また、KGAの事業方針にある「次世代を担うジュニアゴルファーの拡大育成」に取り組み、今回の小学生スクールは数名の初級者も受け入れて指導育成にあたりました。



スタートにて球の確認。
「球に印をつけていますか？」



初級者を指導するジュニア育成委員。

月例競技参加規程一部変更のお知らせ（2022年1月より）

1. 参加資格

ハンディキャップインデックス

男子：4.4まで 女子：9.9まで

2. 出場優先順位（定員を超えた申し込みがあった場合の決定方法）

第1優先：当該年度獲得ポイント上位者順

第2優先：前年獲得ポイント上位「男子25位、女子10位」のうちポイント上位者順

第3優先：直近の過去2回の月例競技で、いずれも人数制限で出場できなかった者

第4優先：受付先着順

3. ポイント

ポイントが付与される順位は男子20位、女子10位まで。

また、付与されるポイントは下記の通りとなります。

男子	女子
優勝：25ポイント	優勝：13ポイント
2位：19ポイント	2位：9ポイント
3位：18ポイント	3位：8ポイント
⋮	⋮
20位：1ポイント	10位：1ポイント

4. 参加資格喪失

● 競技成績

優勝ストロークから18ストローク以上離れた者は、次回1回出場停止

● 棄権者、失格者

棄権者および失格者は、次回1回出場停止

● 欠場者

当日欠場は次回1回出場停止、なお無断欠場は次回より7回出場停止

社員（加盟倶楽部）メールアドレス登録のお願い

KGAでは、行政機関（文部科学省・厚生労働省・農林水産省・経済産業省・内閣府・スポーツ庁・日本スポーツ協会等）からの通達や公益財団法人日本ゴルフ協会（JGA）やKGAからの競技・ハンディキャップに関する情報等、大切なお知らせをいち早くお届けするため、皆様にメールアドレスのご登録をお願いしております。ご登録のお済みでない倶楽部様は、KGAホームページ内「加盟倶楽部ログイン」から、ご登録をお願いいたします。

暑い日が続く。6月と言うのに38度だとか、40度だとか。梅雨に入ったと思ったらもう終わり！史上一番早い梅雨明けだという。関東ゴルフ連盟の熱い競技も始まった。関東女子、関東アマ、関東グラランドシニア、関東女子グラランドシニア、そして倶楽部対抗競技。今年も、熱い競技が続くのが楽しみだ！

競技を運営する競技委員の皆さん、コースの中で取材に勤しむ広報委員の皆さんもこの熱い中大変ご苦労をおかけする。コロナ禍ももうすぐ終わり、観客の皆さんに来ていただけるようになる日は近い様に思えるが、今年の暑い夏は、やはり長くなりそうだ。

（広報委員長・吉田裕明）

障がい者ゴルフの普及に勤しみ、健常者と一緒に愉しめるように

2021年の夏は東京オリンピックで感動し、その後のパラリンピックで一層の感動をさせてもらった。いずれもメダルを目標に精一杯闘うアスリートたちの姿に胸を打たれたのだ。

ゴルフは2016年のリオデジャネイロオリンピックで112年ぶりに開催され、続く東京オリンピックでも採用され、男子は松山英樹選手が銅メダル争いを行い、女子は稲見萌寧選手が銀メダルを獲得した。大変に嬉しい出来事だったわけだが、パラリンピックではゴルフという種目は行われていない。

これはオリンピックとパラリンピックの大会組織が異なるため、全種目が同時開催になるとは限ら

ないからだ。そもそもオリンピックでも長い間、ゴルフが採用されてこなかった背景には世界中で盛んなスポーツではないと判断されていたからだ。

しかもパラリンピックとなれば障がい者でゴルフを行う人は世界的には少ないだろう。種目の採用基準には、世界選手権が定期的に行われているか、世界ランキングがあるかなども考慮されるが、障がい者ゴルフは世界大会も行われているし、世界ランキングも存在している。そこで国際ゴルフ連盟はパラリンピックでの障がい者ゴルフの採用を認めてくれるよう活動を推し進めている。

日本では日本障害者ゴルフ協会が1991年に設立され、21年の

10月には北海道ゴルフ倶楽部で26回目となる日本障害者オープンゴルフ選手権が開催されている。

東京パラリンピックを見た人は、水泳やテニス、バスケットボールなど、障がい者たちの素晴らしいプレーに勇気づけられたことだろう。健常者はもちろん、家に籠もったままの障がい者にとって、何かやってみようという大きな動機付けになったのではないだろうか。そうしたことからしてもパラリンピックでの種目採用は大きな意味を持つと言える。

障がい者ゴルフの競技は他の障がい者スポーツのように、障がいの部分や障がいの重度によって力テグリーを分けて競い合うことが多い。例えば、脚など下肢に障がいがある人、手や腕など上肢に障がいがある人、両方の重複障がい、麻痺のある人、車椅子の人、知的障がいなど、いろいろな部門に分かれる。ゴルフはハンディキャップを付けて老若男女が競い合えるスポー

ツだけに、健常者が障がい者と一緒になってプレーもしやすいスポーツ。ゴルフ好きの家族に障がい者がいたとして、家族揃ってプレーできたらどんなによいだろう。

ハンディキャップを使えば、障がい者の力テグリー分けをなくすることもできるだろうし、健常者と障がい者というカテゴリーだって消滅することもできる。ゴルフが全員がハンディキャップを持てば均等に競い合うことができる。ゴルフが素晴らしいスポーツであることが改めて認識されるはずだ。

まずは障がい者がゴルフコースでプレーできるようにすることが重要。障がい者はプレーがゆっくりになることは致し方ないが、そのことをゴルフコースはもちろん、ゴルフアール全員が理解することが第一。こうしたゴルフ環境になること、その後に健常者と障がい者の枠を外した大会が行われることを切に祈るものである。

（文）本條強広報委員



KGAGOLFER'S NEWS

2022年7月31日発行

KGAGOLFER'S NEWS No.137

発行所／一般社団法人 関東ゴルフ連盟

〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番11号

銀座SCビル4階

TEL 03-6278-0005 FAX 03-6278-0008

ホームページ <http://www.kga.gr.jp>

発行人／佐藤敏明 編集／広報委員会



嵐山カントリークラブ

〒355-0225

埼玉県比企郡嵐山町鎌形1146

TEL：0493-62-2355